



▲10年前に設置された夢レターポスト

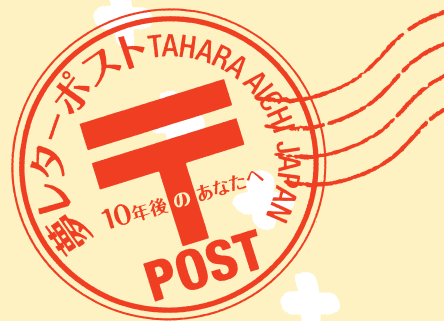
## 10年前からのメッセージ

10年前の2013(平成25)年に「市制10周年」を記念して市が実施した「夢レター」は、「未来の自分や大切な家族、友人などへ10年の時を超えて手紙を届ける」という企画でした。

このポストでお預かりした未来への手紙は約700通。

2023(令和5)年8月、10年の封印を解き、皆さんの元へ手紙をお届けしました。

手紙が届いた方は、10年の時を超えてどんなメッセージを受け取ったのか？「夢レター」を出した方々取材しました。



小久保 <sup>そうた</sup> 颯太さん(23歳)

### ●夢レターが届いた時、どうでしたか？

今、大阪の料理店で働いているのですが、手紙を見たのがちょうど親方に怒られて、とてもへこんでいる日だったんです。母から写真付きで連絡をもらったんですけど、(メッセージが)めっちゃめっちゃ刺さりました！勇気をもらいましたね。中学生時代の自分と、今の自分がいい意味で変わってなくて、一貫性があって安心しました。

この企画、とても良いですね！田原市の中学生には、全員やってもらいたいです！

### ●10年を振り返ってどうですか？

手紙を書いたのが13歳で、将来のことに悩んでいた時期でした。自分では、高校を卒業してから、この10年が一番伸びる時期だと思って、がむしゃらに頑張ってきました。色んなことを経験し、たくさんの人と会って話を聞くことを心掛けてきたつもりです。



▲今は大阪の料理店で修業中。「たくさんの人に自分の料理を食べてもらいたい！」と夢を語ってくれた

### ●今、夢中なことは？

今は美味しいものを作ることにしか考えていません。親方には言えませんが(和食ではない)パスタも得意です！もうすぐ自分のお店を持たせてもらえそうなので、それに向かって頑張っています。料理の技術だけでなく、仕入れやお客さんとの会話、店内の捌き方など、学ぶこと、磨かなければいけないことはたくさんあります。

### ●10年前の自分へのメッセージ

「自分は、頑張ってるぜ！！」と伝えたいです。

### ●田原市にどんなまちになってほしいですか？

田原に戻ってくると、新しい場所やお店ができています。もう少し人が増えたら、自分も店を出してもいいかもしれないと思います。もっともっと盛り上がってほしいですね。



▲23歳の自分へ「これからも仕事やらなんやら頑張るってね！」というメッセージ。当時仲良かった友人たちの似顔絵も